



平成 30年 7 月 3 日
国土交通省 東北運輸局

東北発着の貨物輸送量は対前年度比 93.7%と減少

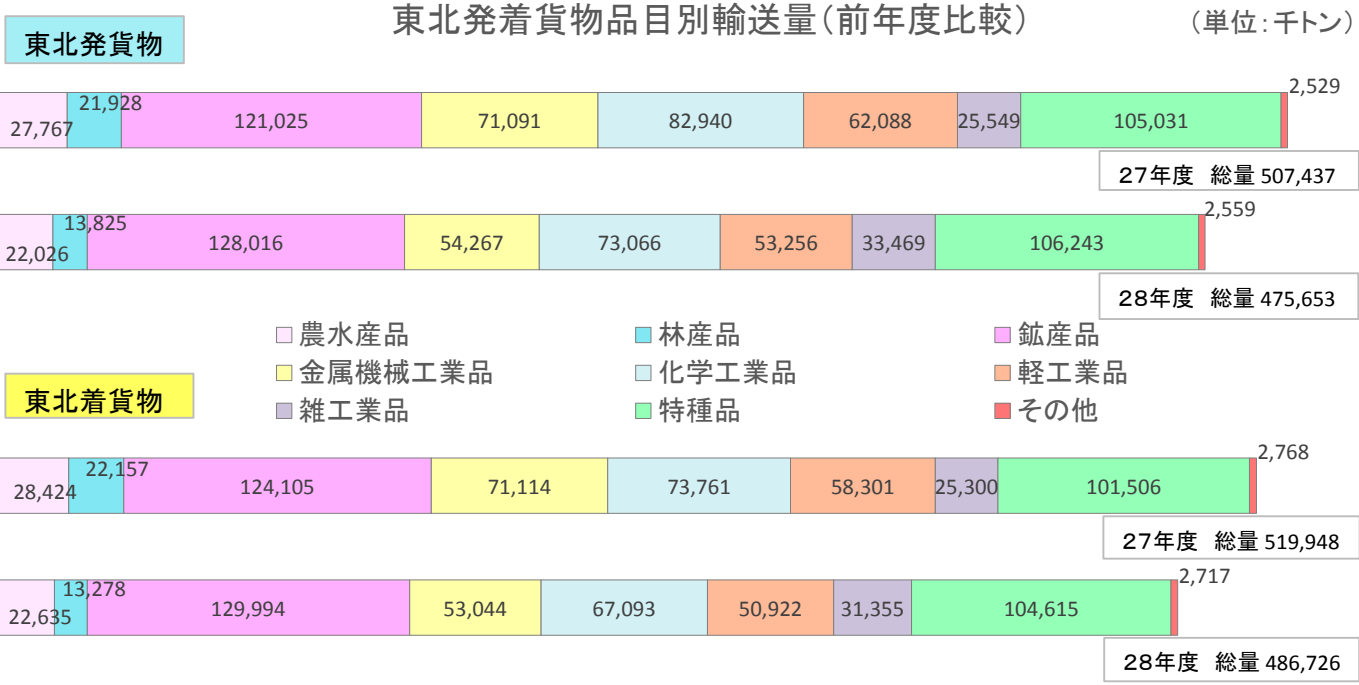
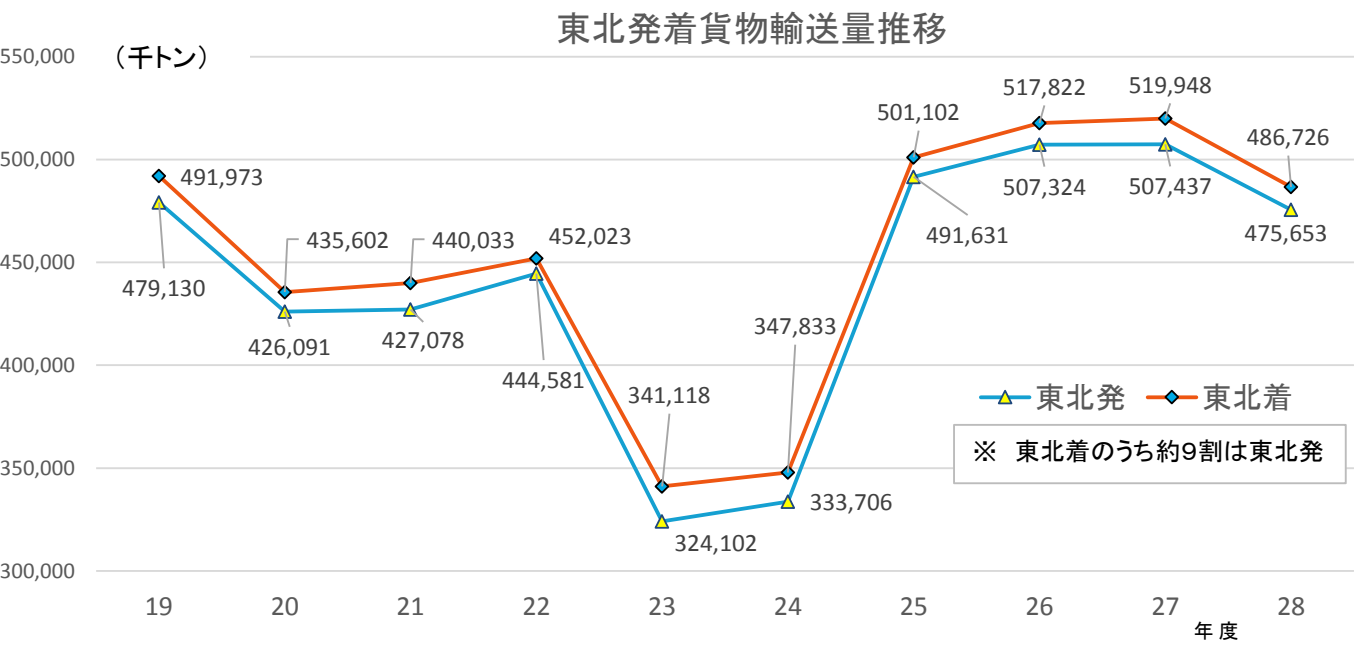
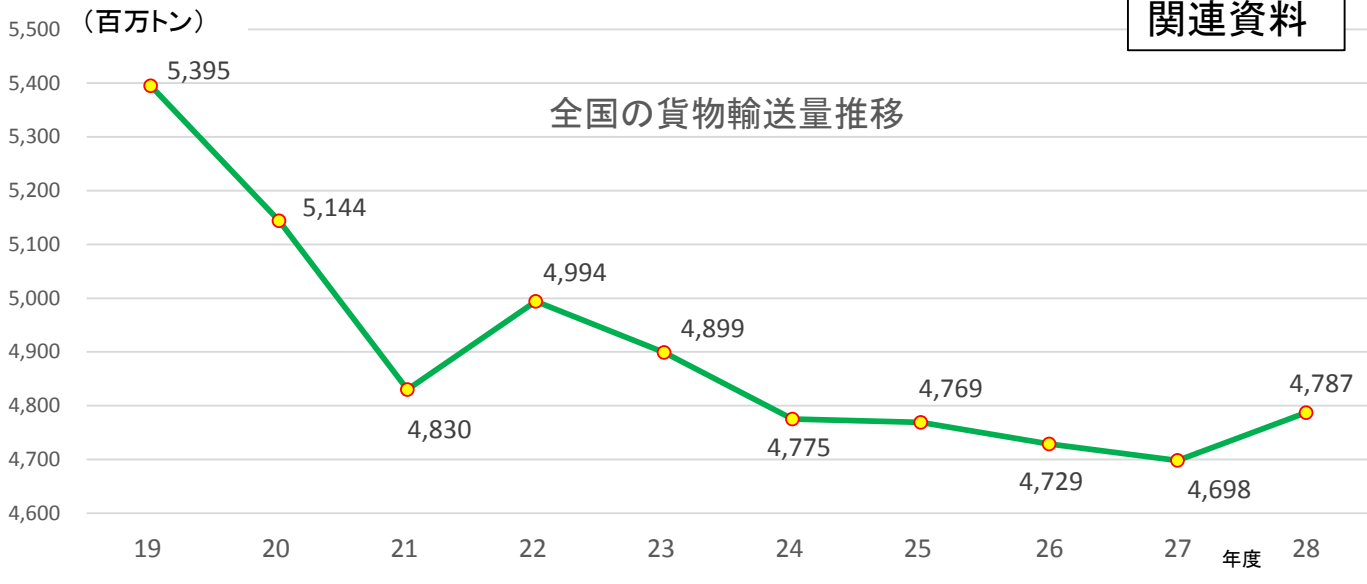
～ 平成 28 年度貨物地域流動調査結果 ～

東北運輸局が、最新の全国物流統計である平成28年度貨物地域流動調査の結果を分析したところ、以下の点が明らかになりました。

- ・ 全国の貨物輸送量は、平成22年度以降、平成27年度まで減少が続いていたが、平成28年度の輸送量は、前年度に比べ1.7%の増加となった。
- ・ 東北発着の貨物輸送量は、震災直後の平成23年度に対前年度比74.2%と大幅に減少したが、その後復興事業関連貨物の物流需要が増加、特に平成25年度は対前年度比145%と大幅増加となった。その後伸びは鈍化し、平成27年度は対前年度0.2%増と横ばい状態にあったところ、平成28年度は対前年度比93.7%と6%を超えるマイナスとなった。これは、復興工事関連貨物の物流需要の減少が主な要因として考えられる。
- ・ 東北発着貨物の輸送モード別のシェアは、鉄道0.7%、海運6.0%、自動車93.3%で、全国のモード別シェアと比較すると海運が4.2ポイント低く、自動車は4.2ポイント高い。この傾向は過年度と同様である。
- ・ 当該データ『東北の物流-国土交通省公表「貨物地域流動調査」（平成28年度分）関連-』については
<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/sm/sm-toukeiichiran.html>
→「東北の物流」からご覧いただけます。



《問い合わせ先》
東北運輸局 交通政策部環境・物流課
中島、安中
TEL：022-791-7508



- ・27年度との比較で減少が目立つ品目：農水産品、林産品、金属機械工業品、化学工業品、軽工業品
- ・「輸送統計に用いる標準品目分類」では、林産品として原木、製材などの木材、金属機械工業品では、鉄鋼、非鉄金属、電気機械、輸送機械など、化学工業品ではセメント、コンクリート製品、石油製品など含まれています。